

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2020年8月18日

大阪府泉州農と緑の総合事務所長 殿

受 付	
令和	2 8.18
泉農緑第	号
大阪府	

提出者 〒590-0526
住 所 大阪府泉南市男里5丁目20-1
バンドー化学株式会社
氏 名 工場長 西川 真一郎



（法人にあつては、名称及 氏名）

電話番号 072-482-7711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	バンドー化学株式会社南海工場
事業場の所在地	大阪府泉南市男里5丁目20-1
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	233：ゴム製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：19634.5百万円
③従業員数	675人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(2019年度)実績】①現状

産業廃棄物の種類	排出量	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック 成ゴム屑(A-8,10)	廃プラスチック 成樹脂屑(B-4,8,D-7)	廃プラスチック 成樹脂屑(B-3,5,9,D-)	無機性汚泥 汚泥(C-1)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1,3)(E-7)	木屑 (E-1)	廃電気器具 類(蛍光灯)(E-9)ノ	乾電池 (汚泥)(E-1)	有機性汚泥 粉末(B-1)
排出量合計	17,757.6	2.5 t	1191.9 t	252.9 t	6.7 t	0.0 t	0.0 t	126.7 t	62.0 t	0.0 t	0.0 t	3.8 t

①現状

昨年度は、廃プラ輸出現状が影響し、リサイクル売却への展開が困難になる。また廃棄物処理に展開するが、単価が高騰し非常に困難な年となる。

- 今後においても容易展開すると思われず。以下の内容を重視し削減を展開反転させていきます。
- 生産設備の更新を順次行い、製品ロスの発生を抑制。(廃棄ロス削減)
- 不良製品削減推進により、廃棄物発生量を抑制。(廃棄不良削減)
- 再生、リサイクルし易い、材料設計等を行うことにより、廃棄ロス、不良削減(廃棄物量削減)
- 廃棄物の分別化により、低コスト化(再生化を推進)
- 深井戸の採水量減により、無機汚泥、海洋埋立てを無くす。

【本年度(2020年度)目標】②計画

産業廃棄物の種類	排出量	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック 成ゴム屑(A-8,10)	廃プラスチック 成樹脂屑(B-4,8,D-7)	廃プラスチック 成樹脂屑(B-3,5,9,D-)	無機性汚泥 汚泥(C-1)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1,3)(E-7)	木屑 (E-1)	廃電気器具 類(蛍光灯)(E-9)ノ	乾電池 (汚泥)(E-1)	有機性汚泥 粉末(B-1)
排出量合計	17,422.6	3.0 t	1200.0 t	240.0 t	6.0 t	0.0 t	0.0 t	110.0 t	60.0 t	0.5 t	0.1 t	5.0 t

②計画

(今後実施する予定の取組)

- 上記記載の、これまでに実施取組を継続推進し、廃棄物排出量を抑制。
- ※今年度強化推進
- ① 廃プラスチック類(B-4, 8)のマテリアリティとしての内製及び売却化を推進。
- ② 廃プラスチック類(成ゴム屑(A-9)のマテリアリティ)としての内製及び売却化を推進。
- ③ 伝動ベルトの生徒方式変更により、製品ロスの発生を抑制廃プラスチック類(成成ゴム屑(A-3, 6, 9, 11, 12 D-5))

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

- (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
- 昨年度、深井戸の分別により、水利用を停止、無機汚泥(c-2)海洋埋立てを削減。
- 昨年度は、後半コロナの影響もあり、生産量減により、廃棄物減及び廃プラ売却も減少も見られ目産業廃棄物量が減少する。
- 今年度はリサイクル業者を調査する共に、分別方法を再検討していく。

②計画

- (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
- ・廃プラスチックの分別を推進。廃棄物3Rへの継続推進により、環境負荷及びコスト削減。
- ・令和2年度目標 分別売却比率を33%以上にす。

【前年度(2019年度)実績】												
産業廃棄物の種類	排出量合計	廃プラスチック類 合成ゴム屑 (A-3,6,9,11,12 D-5)	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-1,4,8,D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-3,5,D-7)	無機性汚泥 汚泥(C-1)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1,3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (乾電池) (E-12)	有機性汚泥 粉末(B-1)
①現状	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) ・自ら行う産業廃棄物の再生利用なし。												

【本年度(2020年度)目標】												
産業廃棄物の種類	排出量合計	廃プラスチック類 合成ゴム屑 (A-3,6,9,11,12 D-5)	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-1,4,8,D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-3,5,D-7)	無機性汚泥 汚泥(C-1)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1,3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (乾電池) (E-12)	有機性汚泥 粉末(B-1)
②計画	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) ・自ら行う産業廃棄物の再生利用、計画、実施予定なし。												

【前年度(2019年度)実績】												
産業廃棄物の種類	排出量合計	廃プラスチック類 合成ゴム屑 (A-3,6,9,11,12 D-5)	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-1,4,8,D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-3,5,D-7)	無機性汚泥 汚泥(C-1)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1,3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (乾電池) (E-12)	有機性汚泥 粉末(B-1)
①現状	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) ・自ら行う産業廃棄物の中間処理なし。												

【本年度(2020年度)目標】												
産業廃棄物の種類	排出量合計	廃プラスチック類 合成ゴム屑 (A-3,6,9,11,12 D-5)	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-1,4,8,D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂 (E-3,5,D-7)	無機性汚泥 汚泥(C-1)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1,3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (乾電池) (E-12)	有機性汚泥 粉末(B-1)
②計画	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) ・自ら行う産業廃棄物の中間処理なし、計画、実施予定なし。												

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(2019年度)実績】													
産業廃棄物の種類	排出量合計												
	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成ゴム層 (A-3.6.9.11.12 D-5)	廃プラスチック類 合成ゴム層 (A-8.10)	廃プラスチック類 合成樹脂層 (B-1.4.8. D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂層 (B-3.5. D-7)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1.3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (汚泥) (E-12)	有機性汚泥 粉末(B-1)		
①現状	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(これまでに実施した取組) ・自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分なし。													
【本年度(2020年度)目標】													
産業廃棄物の種類	排出量合計												
	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成ゴム層 (A-3.6.9.11.12 D-5)	廃プラスチック類 合成ゴム層 (A-8.10)	廃プラスチック類 合成樹脂層 (B-1.4.8. D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂層 (B-3.5. D-7)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1.3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (汚泥) (E-12)	有機性汚泥 粉末(B-1)		
②計画	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(今後実施する予定の取組) ・自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分、計画、実施予定なし。													

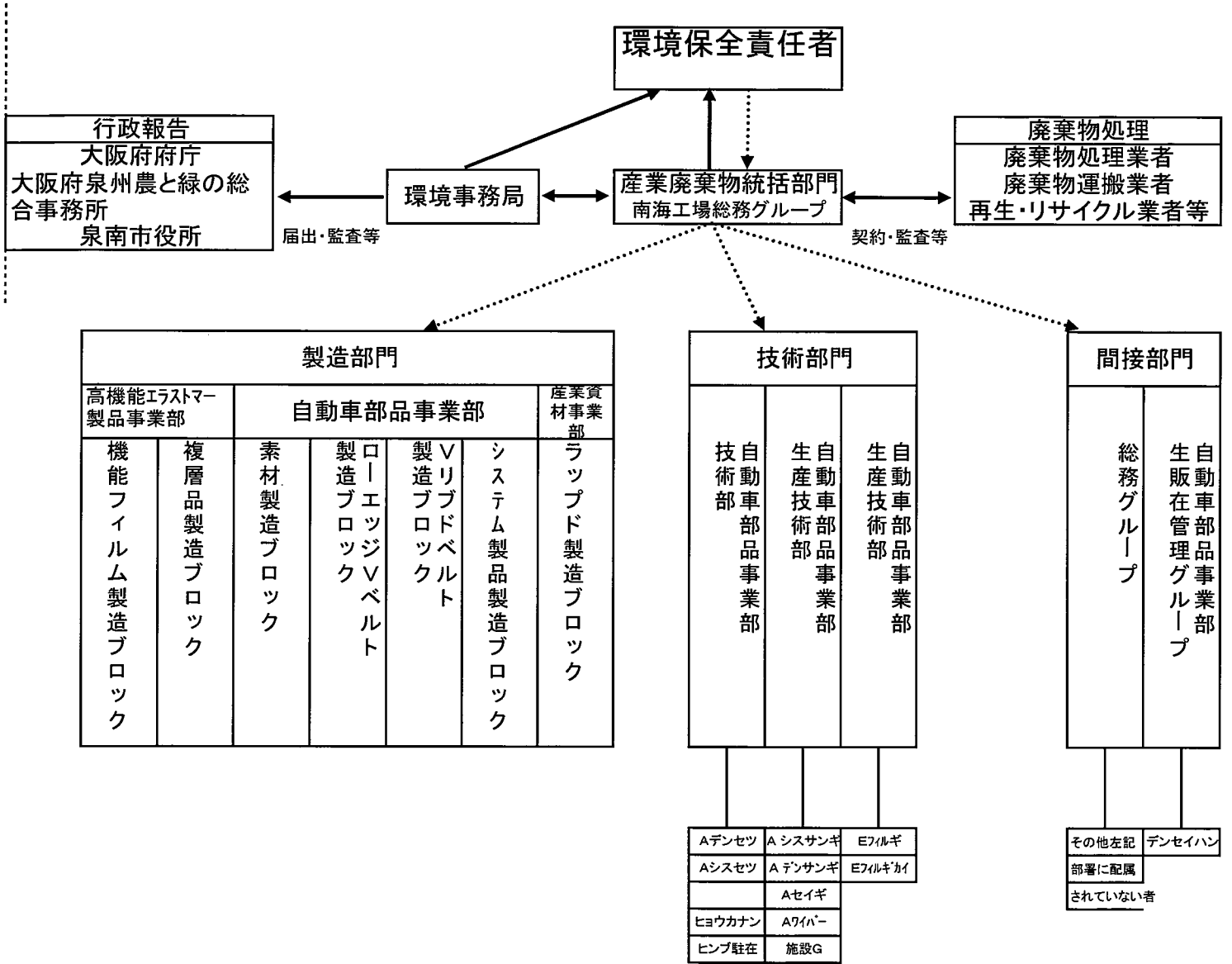
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(2019年度)実績】													
産業廃棄物の種類	排出量合計												
	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成ゴム層 (A-3.6.9.11.12 D-5)	廃プラスチック類 合成ゴム層 (A-8.10)	廃プラスチック類 合成樹脂層 (B-1.4.8. D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂層 (B-3.5.9. D-7)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1.3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (汚泥) (E-12)	有機性汚泥 粉末(B-1)		
全処理委託量	1,757.2 t	1,191.9 t	110.6 t	0.1 t	252.9 t	6.7 t	126.7 t	62.0 t	0.4 t	0.0 t	3.8 t		
優良認定処理業者 への処理委託量	1,574.6 t	1,191.9 t	0.0 t	0.1 t	252.9 t	0.0 t	126.7 t	0.0 t	0.4 t	0.0 t	0.0 t		
再生利用業者への 処理委託量	62.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	62.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
認定熱回収業者 への処理委託量	110.6 t	0.0 t	110.6 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	6.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	6.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
昨年度は、廃プラ輸出規制が影響し、リサイクル売却への展開が困難になる。また廃棄物処理に展開するが、単価が高騰し非常に困難な年となる。 今後においても容易展開すると思われず、以下の内容を重視し削減を展開反映させていきます。 ・生産設備の更新を順次行い、製品ロスの発生を抑制。(廃棄ロス削減) ・不良製品削減推進により、廃棄物発生量を抑制。(廃棄不良削減) ・再生、リサイクルしやすい、材料設計等を行うことにより、廃棄ロス、不良削減(廃棄物量削減) ・廃棄物の分別化により、低コスト化(再生化を推進) ・深井戸の採水量減により、無機汚泥、海洋理立てを無くす。													

①現状

【本年度(2020年度)目標】												
産業廃棄物の種類	排出量合計											
	有機性汚泥 粉末(A-1)	廃プラスチック類 合成ゴム屑 (A-3,6,9,11,12 D-5)	廃プラスチック類 合成ゴム屑 (A-8,10)	廃紙 (表面処理A- 14)	廃プラスチック類 合成樹脂屑 (B-1,4,8, D-7)	廃プラスチック類 合成樹脂屑 (B-3,5, D-7)	無機性汚泥 汚泥(C-1)	無機排水汚泥 (C-2)	一般廃油 (D-1,3)(E-7)	木屑 (E-1)	電気器具 類(蛍光灯) (E-9)	乾電池 (汚泥) (E-12)
全処理委託量	1745.6 t	3.0 t	1200.0 t	1.0 t	240.0 t	6.0 t	0.0 t	110.0 t	60.0 t	0.5 t	0.1 t	5.0 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1551.6 -1564.0 t	0.0 t	1200.0 t	1.0 t	240.0 t	0.0 t	0.0 t	110.0 t	0.0 t	0.5 t	0.1 t	0.0 t
再生利用業者への 処理委託量	60.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	60.0 t	0.0 t	0.0 t	2.5 t
認定熱回収業者 への処理委託量	120.0 t	0.0 t	120.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	6.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	6.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画												
※事後処理欄	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>※今年度強化推進</p> <p>① 廃プラスチック類 (B-4, 8) のマテリアリサイクルとしての内製及び売却化を推進。</p> <p>② 廃プラスチック類 (合成ゴム屑 (A-9) のマテリアリサイクルとしての内製及び売却化を推進。</p> <p>③ 伝動ベルトの生産方式変更により、製品ロスの発生を抑制廃プラスチック類 (合成ゴム屑 (A-3, 6, 9, 11, 12 D-5))</p>											

南海事業所 廃棄物管理組織図と役割



→ : 報告

↔ : 相互連絡

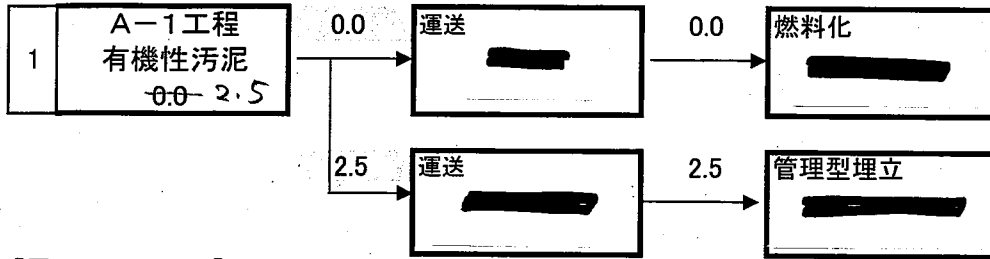
⋯→ : 指示

【産業廃棄物処理フロー】

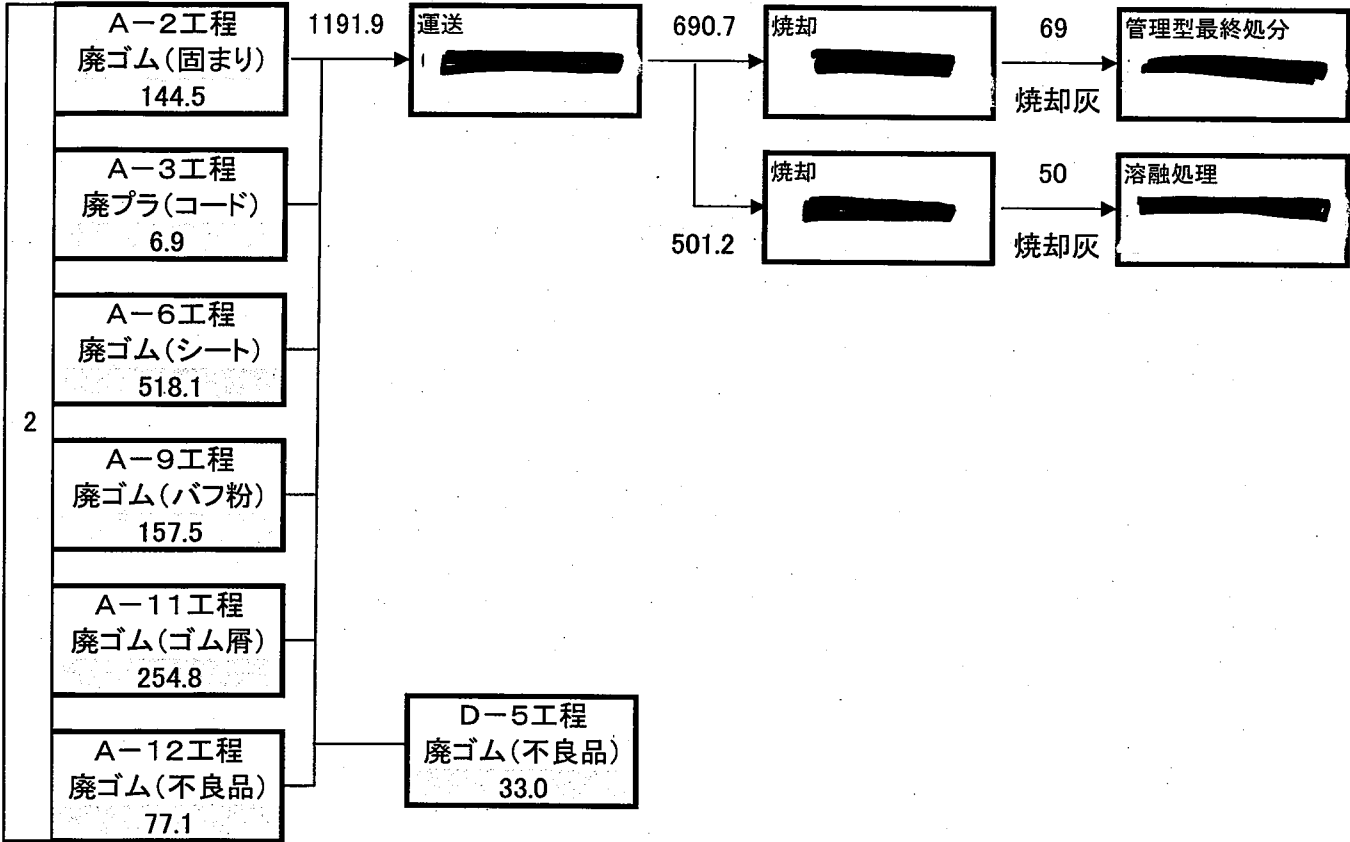
P3-1
2020年6月19日作成

廃棄物 1754.85
特管理 1.48
1756.33

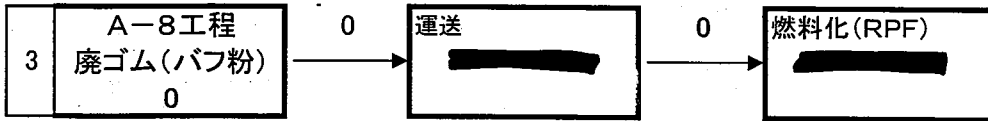
【電子マニフェスト】



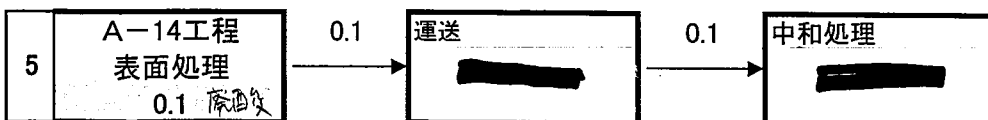
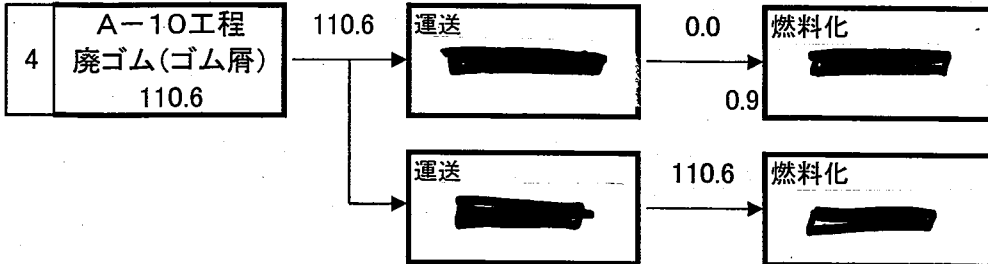
【電子マニフェスト】



【電子マニフェスト】



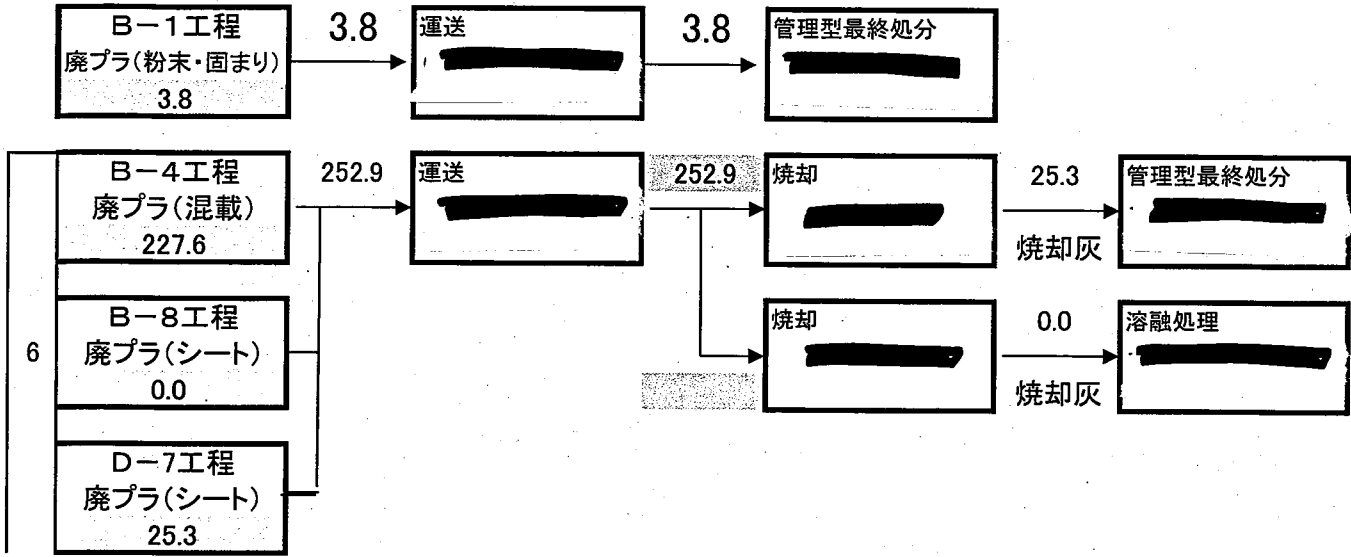
【電子マニフェスト】



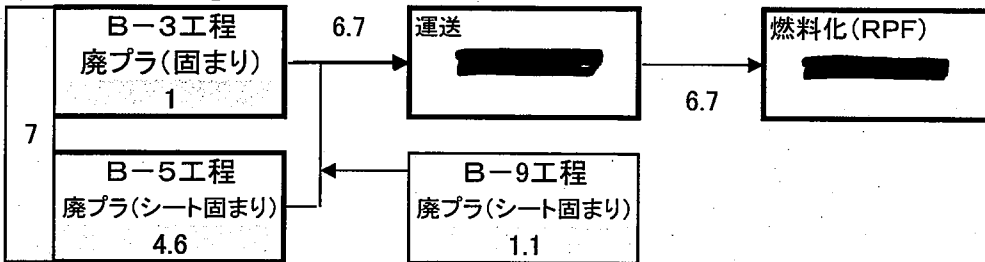
【産業廃棄物処理フロー】

P3-2
2018年6月15日作成

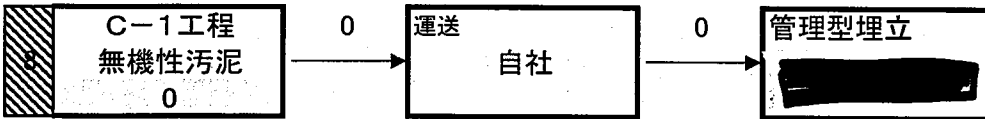
【電子マニフェスト】



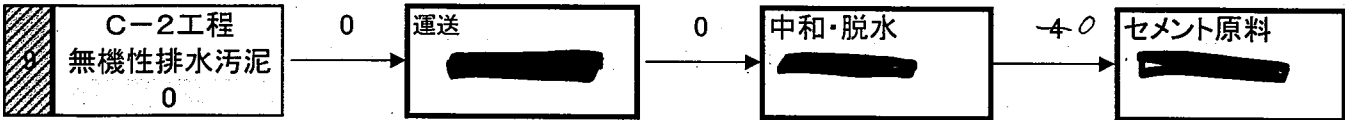
【電子マニフェスト】



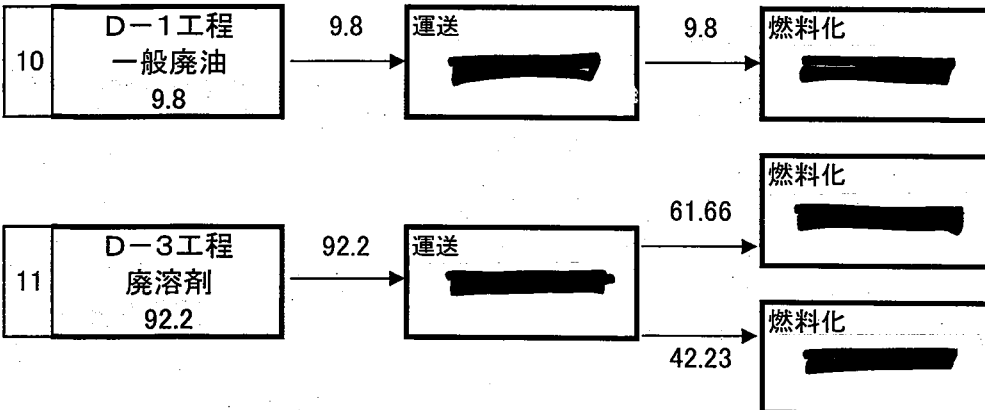
【紙マニフェスト】



【紙マニフェスト】



【電子マニフェスト】



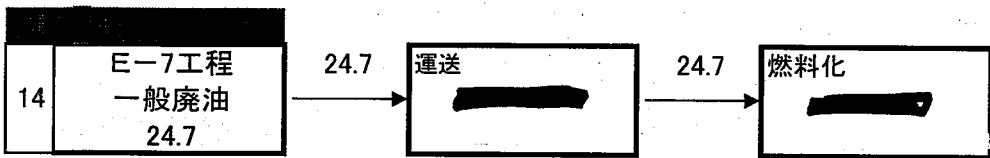
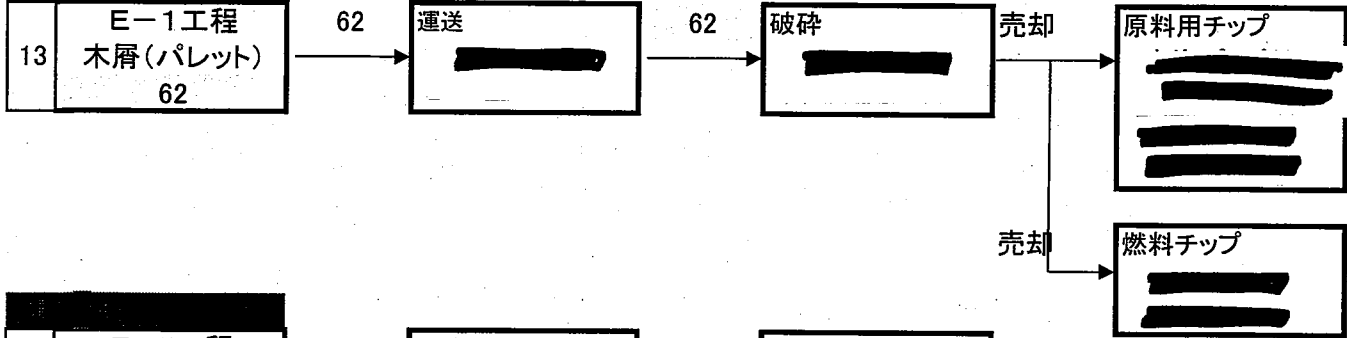
【産業廃棄物処理フロー】

P3-3
2018年6月15日作成

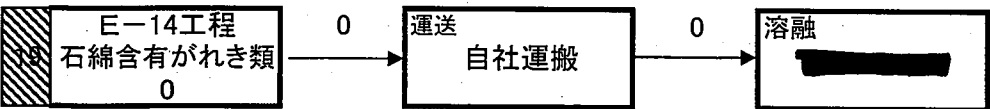
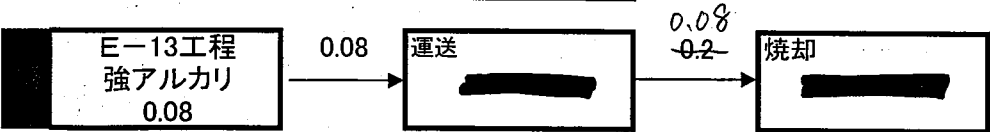
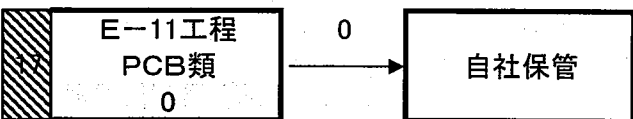
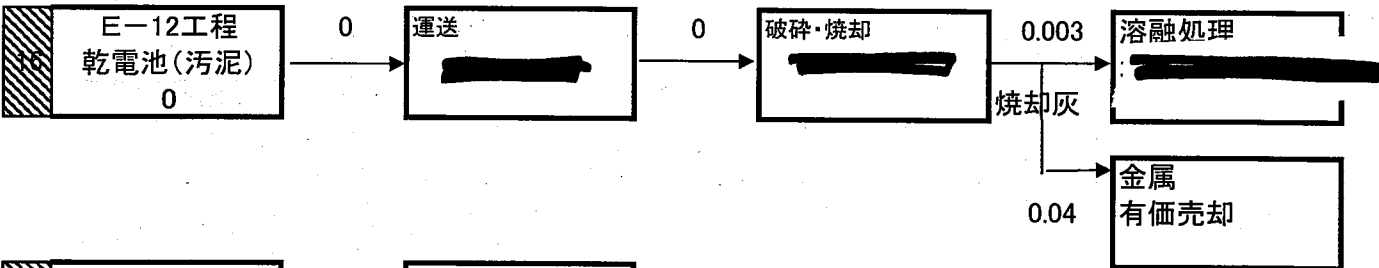
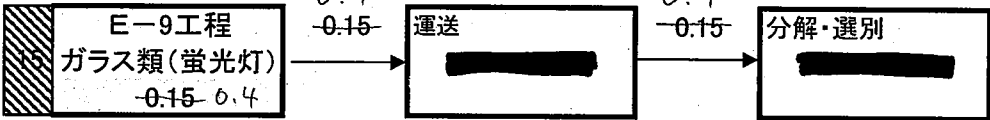
【電子Manifest】



【電子Manifest】

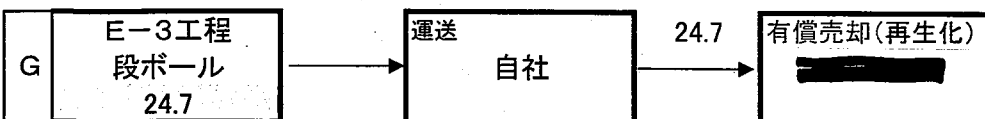
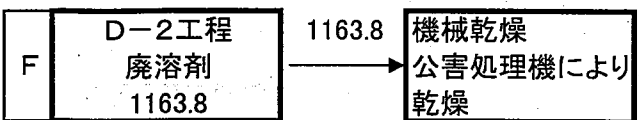
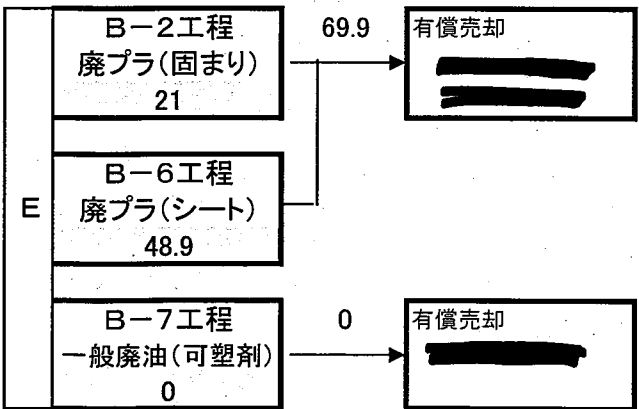
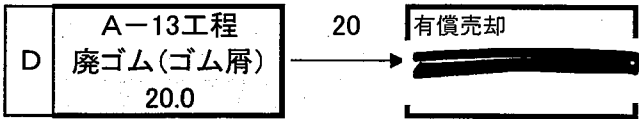
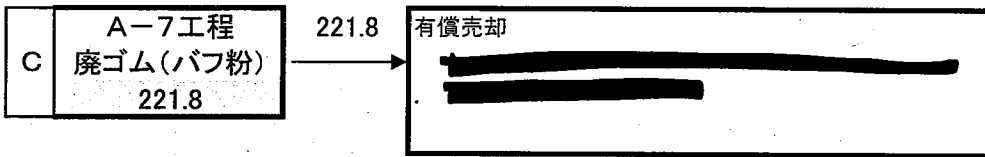
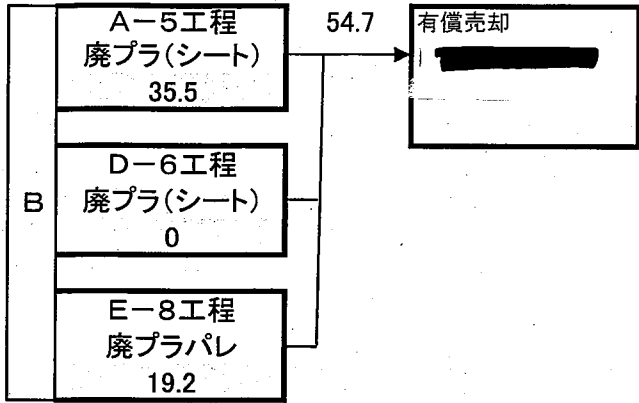
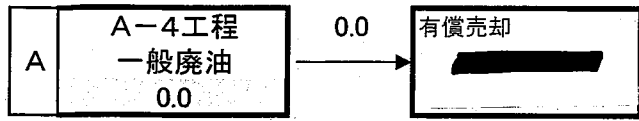


【紙Manifest】



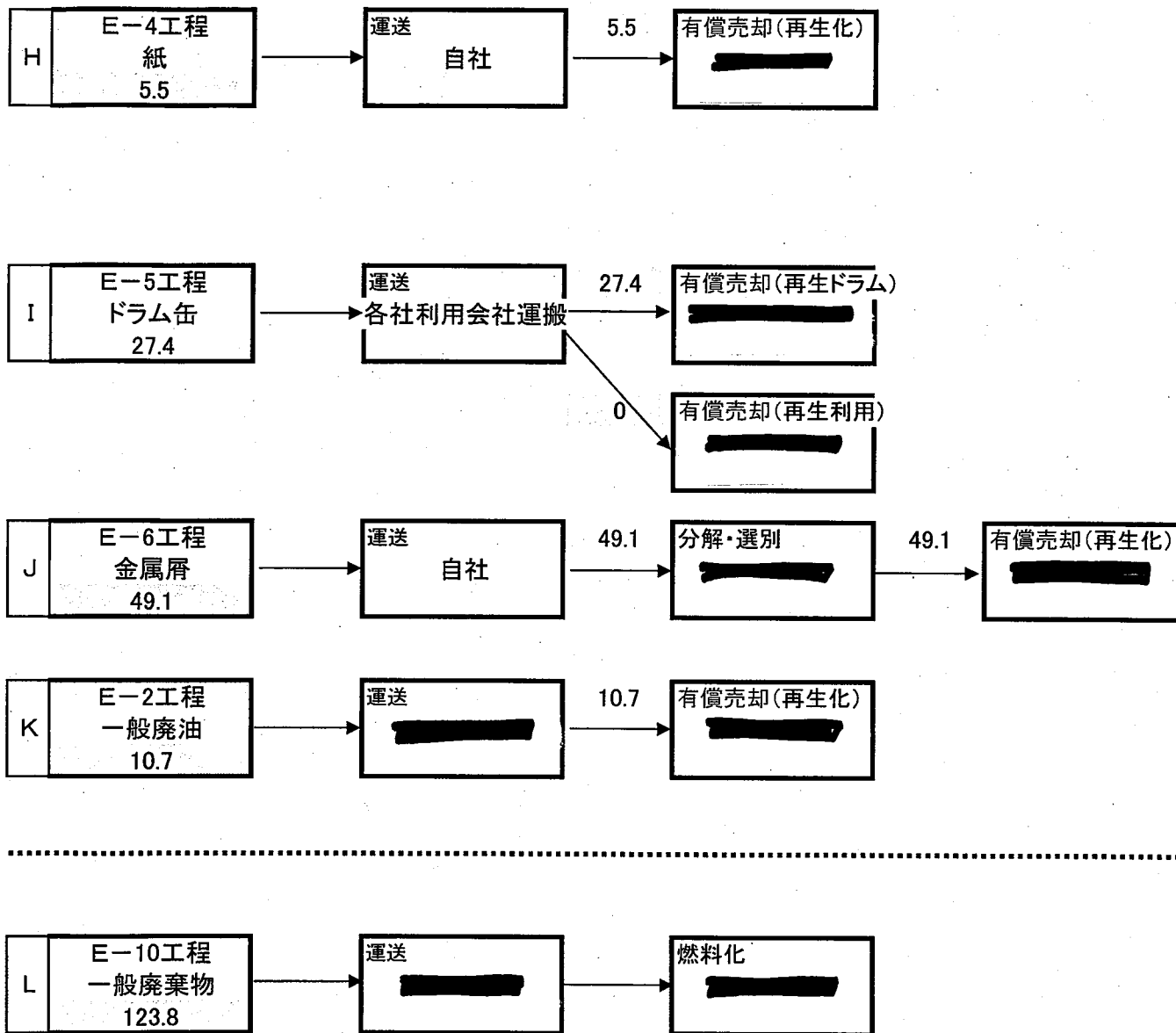
【廃棄物処理フロー(有価等)】

P2-1
2018年6月15日作成



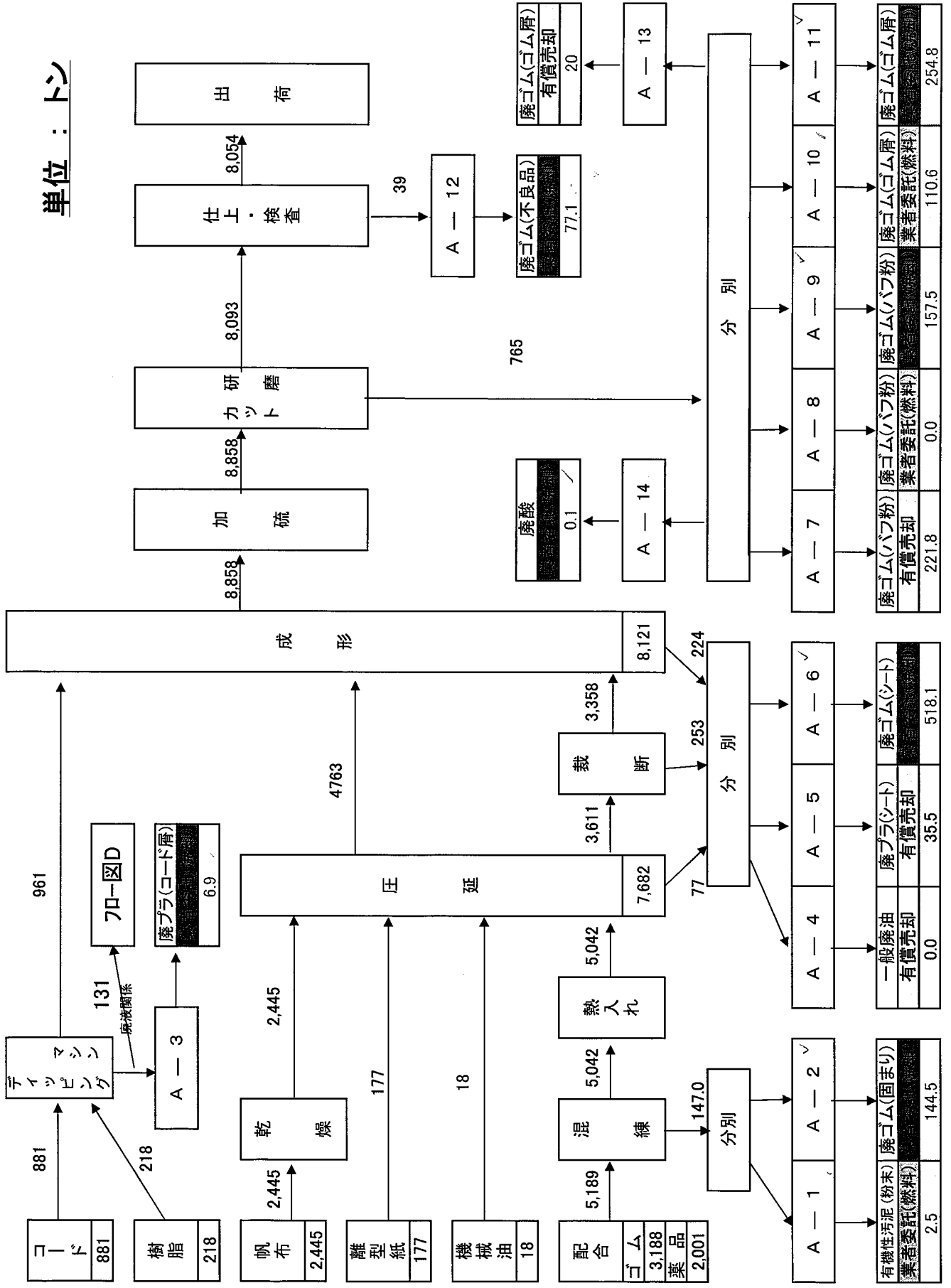
【廃棄物処理フロー(有価等)】

P2-2
2017年6月15日作成

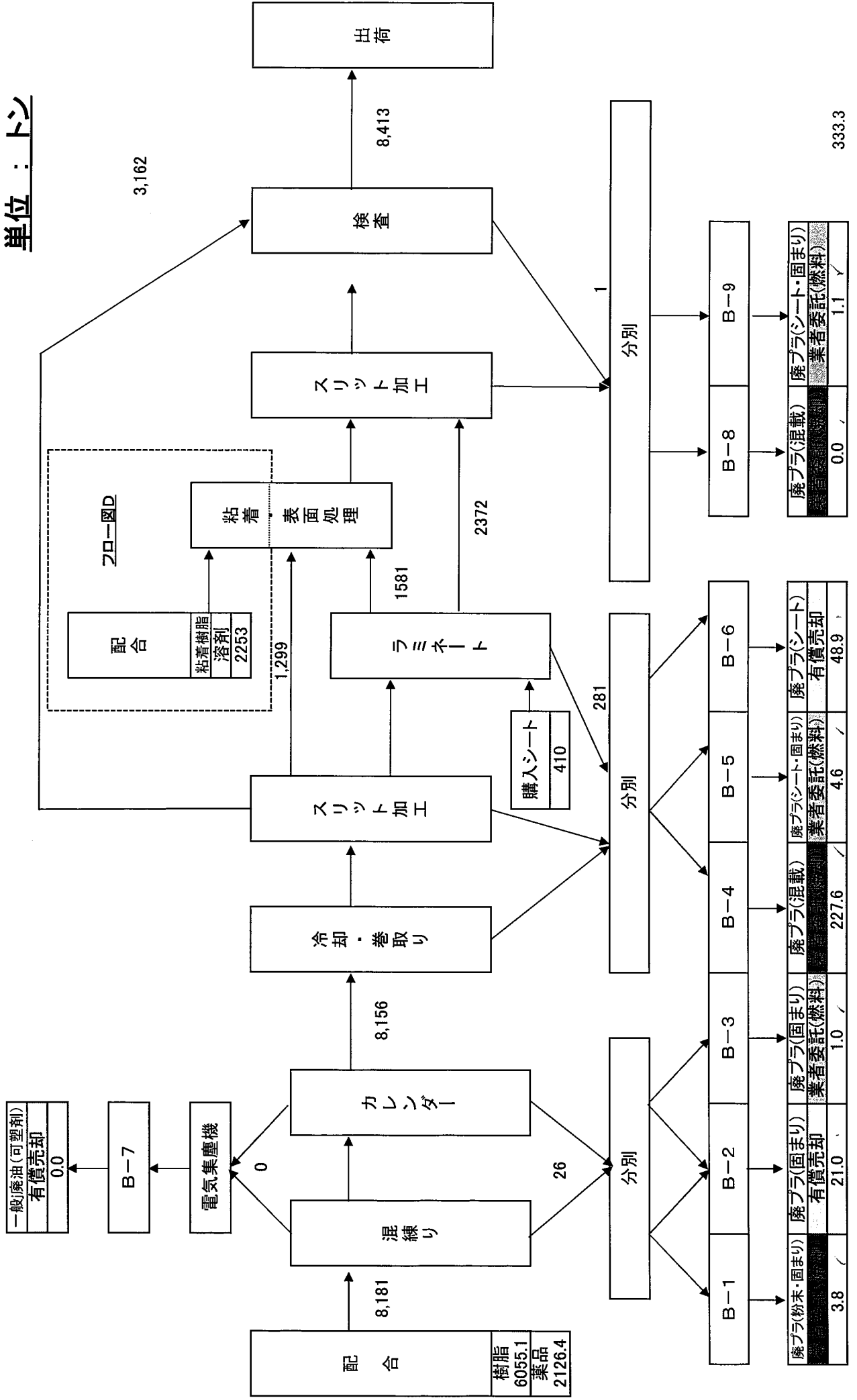


フロ-図A Vベルト製造工程

2020年8月報告

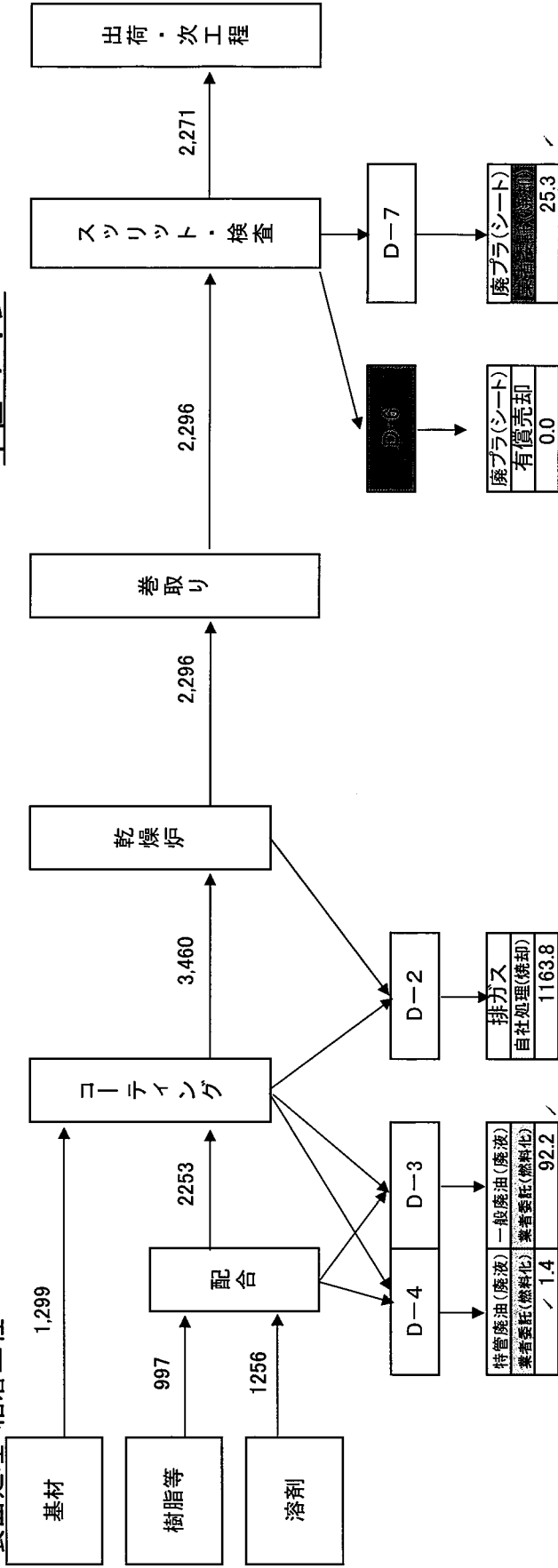


フロー図B フィルムシート製造工程

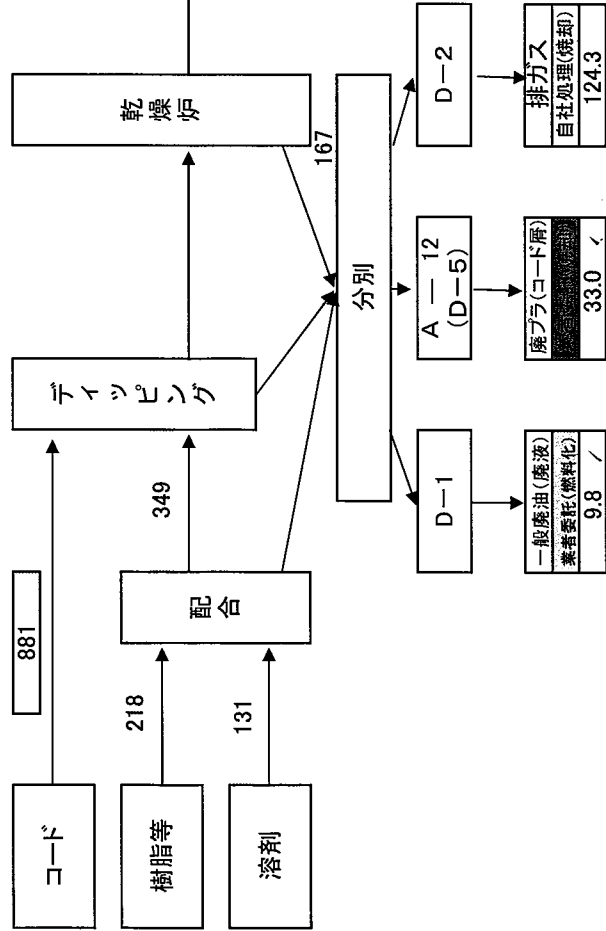


表面処理・粘着工程

単位：トン



デッピング工程



フロー図E 共通廃棄物

